

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療経済実態等調査費		担当部局庁	厚生労働省保険局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	①昭和42年度 ②平成15年度		担当課室	医療課保険医療企画調査室		屋敷次郎	
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	②健康保険法等の一部を改正する法律附則第2条第2項の規定に基づく基本方針について(平成15年3月28日閣議決定) ③健康保険法第88条		関係する計画、通知等	①中央社会保険医療協議会建議(昭和42年9月10日) 中央社会保険医療協議会全員懇談会申し合わせ(昭和63年11月21日) ③訪問看護療養費に係る指定訪問看護の費用の額の算定方法(平成20年厚生労働省告示第67号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	病院、一般診療所、歯科診療所及び保険薬局における医業経営等の実態を明らかにし、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備するため。また、訪問看護療養費の実態を把握し、翌年度の診療報酬改定における当該療養費改定の基礎資料とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①社会保険による診療を行っている病院、一般診療所及び歯科診療所並びに1ヶ月間の調剤報酬明細書の取扱件数が300件以上の保険薬局を対象とし、これらの医療機関等を地域別等に層化し、一定の抽出率で抽出した施設について、調査票を送付し、施設の概況、収支の状況等の調査を行う。 ②病床種類が主に一般病床で構成されるDPC対象・準備病院及びそれ以外のレセプト電算処理システムを導入している病院を対象として、これら病院より提出された調査票を元に、各病院全体の収益・費用の金額を入院部門及び外来部門の各診療科単位に割り振り、診療科別収支(入院・外来ごとの診療科別収支)を把握する。 ③受託事業者において、訪問看護療養費明細書の集計作業を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	29	125	54	235	95
		補正予算					
		繰越し等					
		計	29	125	54	235	95
		執行額	22	91	37		
	執行率(%)	75.9%	72.8%	68.5%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	病院、一般診療所、歯科診療所及び保険薬局における医業経営等の実態を明らかにし、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的としており、定量的な指標を示すことはできない。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成21年度の医療機関等調査では、病院、診療所、歯科診療所、保険薬局等を対象として、回答を得ている。また、平成22年度の部門別収支調査では、病院から回答を得ている。	活動実績(当初見込み)		—	—	—	—
				—	—	(—)	(—)
単位当たりコスト	—		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	医療機関等調査	157	23	医療機関等調査は隔年実施の調査であるため			
	事例調査(部門別・基本診療料)	59	59				
計	235	95					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>執行額については、一般競争入札による結果であり、特段の問題はないと判断。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>事業の必要性が認められるため、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
37百万円

〔 本調査研究の総指揮、命令、
疑義解釈等の最終判断 〕



【総合評価入札】

A. みずほ情報総研株式会社
26百万円

〔 調査対応窓口
計算プログラム作成・修正
調査結果分析・報告書作成 〕

【一般競争入札】

B. (株)イマージュ
10百万円

〔 調査結果集計・報告書作成 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.みずほ情報総研(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	データ分析・報告書作成	16			
経費	問い合わせ対応、印刷・郵送費等	8			
その他		2			
計		26	計		0
B.(株)イマージュ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	データ集計・報告書作成	10			
計		10	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.みずほ情報総研(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	調査、計算プログラム作成・修正、調査結果分析・報告書作成	26	1	92.9%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.(株)イマージュ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)イマージュ	調査結果集計・報告書作成	10	1	87.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					